

会報神奈川

令和6年5月20日発行

発行責任者 神奈川県神道青年会会長 志村幸弥
〒210-0846 川崎市川崎区小田 2-14-17 電話 (044) 333-1046

会長挨拶



神奈川県神道青年会

第二十九代会長

志村 幸弥

謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げます。神宮におかれましても、諸祭恙なく斎行されておりますこと、また天皇陛下の御聴許を拝し、第六十三回神宮式年遷宮に向けての諸準備が開始されますこと誠に慶賀に存じます。

さて、神奈川県神道青年会会長の大役を仰せつかり、早くも一年が経過しました。日を重ねるにつれ、その重責を切に感じ、身の引き締まる思いであります。本年度は四月に定例総会を開催し、令和六年度が始動いたしました。会長を務める残り一年間、この緊張感を糧とし、会員数の減少傾向にある現状ではありますが、会員一同心ひとつに、先輩諸賢が紡いでこられた歴史と伝統を受け継ぎ、斯界の発展に努めて参る所存です。

本年元日に発災した能登半島地震は、私たち神職にとって衝撃の出来事でありました。犠牲になられた方々に衷心より哀悼の意を表すと共に、被災地の日も早い復興をお祈り申し上げます。過日開催された神青協の定例総会後の報告会では、被災地の石川県、富山県より、今までに行ってきた支援活動や現況についての報告がなされました。発災から早三ヶ月が過ぎましたが、被災地は発災時と状況は大きく変わらず、今なお不便な暮らし

を強いられているとの内容でありました。大がかりな支援活動を受け入れられる体制も整わず、思うように復興が進んでいない状況ではありますが、被災地への思いを忘れることなく、私たちに出来る事を模索し、心を寄せて参りたく存じます。また自然災害は、我々にとっても他人事ではありません。発災時における被災情報の集約手段の確立や、備蓄物資の拡充など、当会においても、災害対策・防災意識の喚起は急務であります。

当会はいよいよ創立七十五周年の佳節を迎えます。今年度より、小峰実行委員長を中心に記念事業を構築・展開して参ります。会員各位には、一人ひとりが青年会員・青年神職たる自覚と気概を持ち、活発に意見をお寄せいただき、積極的な事業への参加をお願い申し上げます。また、先輩諸賢におかれましては、尚一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

また本年は神青協においても、創立七十五周年を迎え、様々な記念事業が予定されております。六月には北方領土の碑にて北方領土早期復帰祈願祭、九月には竹島之碑にて竹島領土平安祈願祭が斎行されます。戦後より続く我が国の領土問題を風化させることなく、今の世代への意識発揚につなげるべく、積極的に参加をし、広く思いを共有して参りたく存じます。

結びに、私たち青年神職が時宜に即し、様々な事業が展開できますことは、神奈川県神社庁を始め、県内宮司、先輩諸賢のご理解ご協力の賜物であります。先にも申しました通り、現在会員数は百名に満たない数ではありますが、ご支援を賜る皆様の期待を背負い、斯界の尖兵たるべく、諸活動に励み、研鑽を高めていく所存でございます。今後とも変わらぬお力添えをお願い申し上げます。



神奈川県神道青年会



<http://www.k-jinja.jp/seinenkai/>

シリーズ 言霊

慎之莫怠也

稲荷神社 宮司

石井 直樹



大学受
験で唯一
合格した
のが、國
學院大學

であった。社家出身でない私は法学部に進みサラリーマンになる予定だったが、子供の頃に見た遷座祭の光景が心に残っていた。浄暗の中、陰灯に導かれて進む白装束の神職に憧れ、神様は、確かにおられると、子供心に感じていた。卒業後、サントリーに入社し、大阪の箕面で研修を受けたが、何か

違うと思い、退社して神道学専攻科に入学した。

縁あって鶴岡八幡宮の兼務社であったこの社をはじめ七社の宮司となった。七社の総代たちは、給料が支払えないので現在の兼務社の状態でいいと考えていた。よって本務社を決めるのに苦労した。タイミングよく現在のお社にあった小さなアパート兼集会場の住人が引越すというので、押しかけ女房のような形で住まわせていただき、本務社とした。六畳一間と台所しかなかったので授与所と一部屋増築した。

社殿の拝殿には扉がなく、昼間は子供たちの遊び場、夜は暴走族がシンナーを吸いに来る場所だったが、神社振興対策の指定を二期受け、その資金を元に整備を進めた。バブル時代に向かって景気がよくなったのか、当初から外祭が月に十五件ぐらいあり、生活の糧とし、社殿内調度品

も少しずつ自費で揃えていった。

平成に入ると兼務社は十三社となり、限られた紙面では書き尽くせぬ苦勞や挫折があった。二十年が過ぎ四十半ば過ぎくらいから、漸く総代役員との距離が本当の意味で縮まったと思う。苦勞した時期に留意していたことは、次の二点である。「郷に入っては郷に従え (When in Rome, do as the Romans do)」 「今日できることは明日に延ばすな (Never put off tomorrow what you can do today)」 宮司だからといって、宗教法人法や、神社規則を、振りかざして高飛車になつては、ならない。(特に金銭面のことについて)そして総代や氏子さんたちの要望には素早く応えて信頼を得ることが、専従神職不在神社に入る場合のポイントと考える。同じような立場にある青年神職が居られるなら、少しでも参考にしていただければと思う。また、代々社家の若手神職には、受け継いできた伝統と信頼を大切に、そこにもう基盤は出来上がっているのだから、目標を立てて大きく飛躍してほしいと願う。

古希間近にしてサラリーマンでよかったのか、この道に進んでよかったのかは解らないが、この小さなお社で神職だけで暮らしていいこと

は、少なからず幸せであった。ご指導ご鞭撻を頂いた全ての人に改めて感謝致したい。

むすびに、座右の銘は、倭姫命が天叢雲剣を日本武尊に授けられたときにはなむけのお言葉「慎みて怠ることなかれ」である。人生は常に身を慎み、怠けることなく、精進に精進を重ねなければなりません。怠け者の私にとつては叶わぬことです。常日頃から背中を見られている私ども神職にとつては、この名言を心の片隅に持ち続けることが肝要ではないでしょうか。

慎之莫怠也

稲荷神社
宮司 石井直樹

- 〈営業品目〉
- 交通安全御守護
 - 開運招福鈴
 - 文鎮 金盃
 - 各種記念品類
 - 胸像・レリーフ・鑄造類

鈴木徽章工芸株式会社

〒113-0032 東京都文京区弥生2-12-1
TEL 03-3814-1811 FAX 03-3818-8332
E-mail: info@suzuki-kisho.co.jp
http://www.suzuki-kisho.co.jp

活動報告

十月

一都七県神職野球大会

事務局 局長 中村友郎

令和五年十月四日、大井ふ頭中央海浜公園野球場にて第二十七回一都七県神職野球大会が開催されました。今大会は大会が主管となり、事前の準備から当日の運営までを担当致しました。

前日から降り続く雨の影響で、開催当日の午前七時の段階でもグラウンド状況は不良ではありましたが、その後の天気予報では天候の改善が見込まれる事を考慮し、また各県の参加者のグラウンド整備のご協力もあり、開始時刻を遅らせながらも何とか開催に漕ぎ付ける事が出来ました。



しかしながら、予報に反し雨が時折強



く降りしき中、試合経過と共にグラウンド状況は悪化の一途を辿り、第一試合を終了した段階で参加者の怪我の危険性を考慮し、止む無く大会中止の判断を下す事となりました。

その後は天候が比較的良好方に安定したため、状態の良い球場を選びながら各県有志での非公式試合を開催する事となり、野球を通して他県の方々と親睦を深めるという点に関しては大いに寄与出来た大会となったものと思います。



昨今では、各種スポーツの普及度合の多様化もあり野球人口の減少が騒がれており、今大会を通しても参加者の減少と高齢化が垣間見え、チーム編成に大きな問題が影を落している様に感じま

した。これまで連続と継続してきた事の重要性に思いを馳せながらも、現状と今後の展望を踏まえ、スポーツを通じた懇親事業の新たな形を模索すべき時が近いのではないかと今大会の主管を通し、思いを強く致しました。

稲刈り

企画部 副部長 長坂倫旦

当会では、神奈川県神道青年会御神田（伊勢原市）において、青少年育成を目的とした稲作体験事業を、一年を通じて行っております。

令和五年六月四日、稲作体験事業「お田植え」で植えたイセヒカリの稲は順



調に育ち、無事に収穫の時を迎え、令和五年十月七日に抜穂祭及び稲刈りが行われました。



令和四年までは新型コロナウイルス蔓延の影響により、青年会員以外の参加募集を控えておりましたが、新型コロナウイルス終息の兆しが見え、制限が緩和された令和五年からは、一般の皆様にもご案内しご参加頂きました。

まず、鎮守様の比々多神社に参拝し、感謝と当日の無事を祈願、その後御神田にて厳肅に拔穂祭を斎行し、稲刈り体験を行いました。

世話役の小泉様をはじめ関係の皆様には丁寧にご指導頂き、参加者は熱心に稲刈りに取り組みました。稲刈り後は田んぼに竿を組み立て、束ねた稲を掛けて干し、当日の作業は終了しました。

また、今回は國學院大學の学生にも参加を募り、二名の参加を頂き、総勢三十余名で無事賑やかに修めることができました。その後、収穫したイセヒカリは県内各神社に新嘗祭の新穀として奉納しました。

三年間集まることのできなかった稲作体験ですが、今回は子供たちが楽しく元気に稲刈りをしている姿がとても印象的でした。これからも皆様と一緒に稲作体験事業を行い、次世代へ継承していきたいと思います。

十一月

小筆講座

教養部 副部長 阿部友哉

令和五年十一月八日午後一時より、当会として二回目となる教養研修「小筆講座」を神奈川県神社庁において開催しました。

本研修は神職にとって必要な素養のひとつである書道の中でも、小筆を用いた御神札書きや宛名書き等の技術向上と、書道道具の正しい使い方を学ぶことを目的に、昨年度に続き開催したものです。

講師には書道教室「美祥会」主宰、毎日書道会会員、創玄書道会二科審査員、書道日本社理事の重光倩瑟先生を



お招きしました。

講座ではまず、基本的な筆の構え方、また墨や硯等の書道用具の取り扱いに



ついでの解説をいただきました。

次に、社務において使用頻度の高い「宛名書き」「神札の名入れ」を想定し、日々の社務や宛名書きで多く使う文字を中心にお手本をいただき、各自が書いたものを先生に添削していただきました。字形や線の強弱はもとより、姿勢や筆圧にも気を付けながら、各々集中して書に向き合いました。

書道とは身近な環境にしながら、長時間集中して書を教えていただく機会は少なく、参加者にとって大変貴重な時間となりました。

一七協懇親フットサル大会

副会長 小泉匡史

令和五年十一月二十一日、「神青協一都七県協議会懇親フットサル大会」が、当会が中心となり約五年ぶりに国立代々木競技場フットサルコートにて開催されました。



参加人数は、約五十名にも及び盛大に行う事ができました。

当会からは、十三名の参加にて大会に挑み惜しく

一つのボールを追いかけて懇親を深めました。

その後は、渋谷駅に移動して懇親会を行いました。約四十名のご参加をいただき、こちらも盛大に行われ、神青協一都七県協議会顧問である先輩方に



も優勝を逃してしまいました。が、優勝をすること以上に大切かと思われる大会の盛り上げ、また多くの参加者の方の笑顔に貢献できたものと存じます。

接戦の末、優勝は北多摩神道青年会むらさき会が勝ち取り、大会は幕を閉じました。

大会後、コート時間がまだ残っており、単位会で、単位会の垣根を越えて

も大会から引き続きご参加いただき、とても有意義な時間になったものと存じます。

今回は優勝を目指していきたいと思えますので、応援の程よろしくお願ひ致します。

十二月

忘年会・賛助会員交歓会

親睦部 副部長 田村拓之

令和五年十二月十一日、横浜桜木町ワシントンホテルベイサイドにて「忘年会・賛助会員交歓会」を開催致しました。当日は、日頃より当会に多大なるご理解とご協力を賜ります賛助会員・顧問・OBの皆様、また友好団体である神奈川縣神輿保存會の皆様にご



臨席賜り、新型コロナウイルスの分類が五類に移行してより初めての忘年会ではありましたが、総勢四十七名の方々にご出席頂き、それぞれが



令和五年を振り返り、思い出話を肴に終始笑い声の絶えない時間を過ごしました。

普段、お話しする機会が少ない諸先輩方から頂いたお言葉や会員同士の懇親など、忘年会の席でしか気付けない新たな一面を垣間見る有意義な時間を過ごすことが出来ました。

例年に比べ少ない人数ではありませんが、その分、一人一人との親睦を深め、年始に向けて、また、当会の益々の発展に向けての英気を養う一日となりました。

一月

令和六年能登半島地震物資支援及び防災備蓄倉庫在庫確認

総務局局長兼監事 山本喜道

令和六年一月一日に発災した能登半島地震の災害支援として、一月十日に神道青年全国協議会より富山県神道青

年会へ雨雪などの対策でブルーシートが不足しており、早急な物資支援の依頼がございました。

これを受け、当会でも総務局を中心に会員でブルーシートを購入し、送付できるよう働きかけました。志村会長、坂路渉外部長、私の三名にて百十枚のブルーシートを購入し、また大山阿夫利神社の目黒宮司様より十枚のブルーシートをご寄贈いただき、合計百二十枚のブルーシートを神道青年全国協議会顧問の有磯正八幡宮（富山県高岡市鎮座）上田宮司様に郵送させていただきました。

被災者の方々、また被災された神社の一日も早い復興を願い、今後も支援活動の依頼があれば即座に対応できるよう準備を進めて参ります。



神社庁防災備蓄倉庫

(写真のブルーシートは備蓄用の物)

新年会

親睦部 副部長 岡村恵太

令和六年一月二十三日、イタリアンダイニングザサウスにて守屋相談役及び志村会長以下三十名の会員が集い新年会を開催致しました。

開会に先立ち、志村会長より元日に発生した令和六年能登半島地震の支援として、富山県神道青年会に百枚超のブルーシートを発送済みとの報告がありました。



社頭賑わう年初にこのような震災が発生し、同じ青年会として出来る限り協力し復興の一助になれるよう努めたいとの旨が述べられました。

本年は辰年につき佳き縁起にあやかりたいと思慮するながら、苦しい時期を耐えられている被災者の皆様の安全と被災地のいち早い復興はもとより、当会の本年の事業をはじめ、来る当会創立七十五周年記念事業が会員のたゆまぬ努力により実を結び、天に龍が昇るが如く躍進の一年となりますよう心よりご祈念申し上げます。

二月

広島県青年神職会
創立七十周年記念大会

相談役兼監事 守屋隆広

令和六年二月十三日、広島県青年神職会創立七十周年記念大会がホテルメルパルク広島を会場として盛大に開催され、当会より小泉副会長と守屋の二名にて参加致しました。

大会においては、昨今のVUCA(変動制、不確実性、複雑性、曖昧性)の時代に青年神職としてこれまでの手法をブラッシュアップする為に「考」を主眼に最善を模索しながら周年の事業構築をされた事のご報告がございました。また記念講演では、株式会社中国



放送アナウンサーの横山雄二先生より「伝える力〜これからの神主に求めること〜」の演題により興味深いお話があり、氏子崇敬者、参拝者の方々へ「一歩踏み込んだ話をしよう」、「サービスマのつもりで積極的に話をしよう」、「自分達の職業を理解してもらう為に言葉にする必要性があること」、そして神社に興味のない方にも「言挙げすることで伝統文化を継承する仲間を増やせるのではないかなど、様々なアドバイスがございました。最後の言葉として、「参拝者へ心に残る一言」を是非と締められ、言葉の力を改めて感じる時間となりました。広島県青年神職会の皆様、おめでと〜ございます。

埼玉県神道青年会
創立七十周年記念大会

企画部 副部長 茶志川瑞稀

令和六年二月二十一日、埼玉ソニックス大ホールにて開催されました埼玉県神道青年会創立七十周年記念大会に、当会より志村会長を始め八名にて参加致しました。

開会の辞に続き、埼玉県神道青年会高橋陽一会長が挨拶され、創立七十年を迎えるにあたり、先人等から現在まで受け継がれた思いを残す為に、今は後世に繋げる事を考える場所であると述べられました。

続いて、神道青年全国協議会河崎智洋副会長が祝辞を述べ、記念大会を含



め事業が行えるのも諸先輩方が今まで取り組んできた賜物であり、これからの周年事業を成功させる為にはそれぞれ会員が一人となって団結する必要がある。また、一人の神職としても各々が自分の職務と真摯に向き合い、奉仕に勤しむ事が大切であると述べられました。

記念講演では、明治学院大学名誉教授の樋口隆一先生より「樋口季一郎の北海道防衛とウクライナ情勢」と題しご講演を賜りました。

樋口先生の祖父にあたる樋口季一郎氏が戦時中旧ソ連軍の北海道侵攻を阻止したお話から、ロシアによるウクライナ侵攻などさまざまな視点からお話を戴きました。昨今の世界情勢を踏まえ、我々神職にできることは世界の共存共栄を祈る事で、この「祈り」こそが必要不可欠であると実感させられました。

記念大会を通じて、改めて神職としてどうあるべきかを考える重要な時間となりました。これから、より一層神明奉仕に努めて参る所存です。



三月

令和五年度 神道青年全国協議会中央研修会

副会長 小峰敏風

令和六年三月七日から八日にかけて、札幌プリンスホテル国際館バミールに於いて、北海道神道青年協議会の主管により令和五年度神道青年全国協議会中央研修会が開催され、当会より志村会長を始め十名が参加致しました。

本研修会は三講に割り振られており、作家・ジャーナリスト門田隆将、上川大雪酒造株式会社代表取締役塚原敏夫、カーリングチーム「一般社団法人ロコ・ソラーレ」代表理事本橋麻里各先生にご講演頂きました。門田隆将先生からは国家としての難題を様々な角度から取り上げ、日本の危機である現状の情報共有について、塚原敏夫・本橋麻里両先生からは地元の特性を生かした地域社会の活性化の成功例について、それぞれ貴重な講演を拝聴しました。社会連帯の中核を担うことに必要な知識である国家の危機管理や、地域と神社が共に発展していく為に必要な行動力が求められることなど、いずれも青年神職にとって有意義な研修会となりました。



懇親会に於いては、北海道神道青年協議会の素晴らしいおもてなしの中、全国の同志達と美酒を酌み交わし、楽



しく交流を深め、札幌の地で大変充実した時間を過ごさせて頂いたことをご報告致します。

禊錬成研修会

教養部 部長 湯田敬介

令和六年三月十二日午後一時より、教養研修「禊錬成研修会」を鶴岡八幡宮研修道場にて十八名の参加のもと開催しました。

当会としては四年ぶりとなる本研修会は、正しい作法を身に着け、錬成行事に対する理解を深め、心身ともに清め整えることを目的とし企画致しました。

講師には神奈川県神社庁錬成行事道

彦 鶴岡八幡宮欄宜角井司先生、同助彦 寒川神社権欄宜小野俊之先生をお迎えし、錬成行法と鎮魂行法について学びました。

まず錬成行法を行いました。参加者の中には、新型コロナウイルス感染拡大による実習縮小等の影響により、一度も禊を行ったことがない方もいた為、一段目は行法をご説明頂きながら進み、二段目は全体を通して行いました。参加者の皆さんが大きな声で鳥船行事を行い、お水をいただき、とても良い雰囲気で行う事が出来ました。

その後、鎮魂行法を行いました。禊と違い、鎮魂行法についてはなかなか学ぶ機会が少ないのが現状ではあります。



すが、禊と鎮魂どちらかだけを行うのではなく、この二つを通してやらなければ意味をなさないと言われています。講義の中では「手の術」「息の術」等を含め一連の鎮魂行法を実践しました。



研修会終了後には、講師先生方も交え懇親会も開催し、参加者の方々とって充実した機会となりました。

外貨収集事業

渉外部 副部長 相原侑一郎

近年訪日する中国人を初めとした外国人が急増し、全国の神社仏閣を訪れる事が急増しています。

コロナ禍後、インバウンドで更に多

くの外国人観光客が急増し、各社共に外貨の対応に苦慮しているようで、渉外部の事業として県内各社の外貨を収集し、UNICEFに寄付する運びとなりました。

賛助会員様を中心に県内各支部で回収した結果、無事に沢山の外貨が集まり、改めて外国人観光客の多さに驚かされました。今回収集した外貨で多いのが中国、韓国、東南アジア諸国でした。

奉仕する江島神社でも観光地という事もあり、土日祝日だけでなく、平日でもあらゆる国の言語が飛び交い、日



常の奉仕の中でも様々な対応が求められています。

当社では弁財天像を祀っており、大陸を渡り仏教と共に日本へ伝来してきた経緯がある為、仏教を国教としている諸外国の人々が境内で熱心に参拝している姿を目にします。

青年会として初めての試みで、皆で試行錯誤しながら立ち上がった新しい事業でした。各社の宮司様を初めとした県内神職の皆様には快くご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

【ご協力いただいた神社様】

計五十三社 総重量四〇九kg

川崎支部

・稲毛神社 ・日枝大神社

・溝口神社 ・琴平神社

横浜北支部

・熊野神社 ・笠程稲荷神社

・熊野神社 ・杉山神社

・八幡大神 ・日吉神社

横浜支部

・伊勢山皇大神宮 ・本牧神社

・橘樹神社 ・神明社

横浜南支部

・杉山神社 ・日枝神社

・中村八幡宮 ・天神社

・岡村天満宮 ・浅間神社

・八幡神社 ・富岡八幡宮

・瀬戸神社 ・青木神社

鎌倉横須賀三浦連合支部

・鶴岡八幡宮 ・森戸大明神

・諏訪神社 ・白山神社

相模湘南支部

・鶴沼伏見稲荷神社 ・江島神社

・寒川神社

相模中央支部

・鈴鹿明神社 ・座間神社

・龍藏神社

相模原支部

・亀ヶ池八幡宮 ・皇武神社

・氷川神社 ・日々神社

相模中連合支部

・六所神社 ・前鳥神社

・三嶋神社 ・伊勢原大神宮

・比々多神社 ・大山阿夫利神社

・御嶽神社

・平塚八幡宮 ・白笹稲荷神社

足柄小田原支部

・報徳二宮神社 ・松原神社

・居神社 ・箱根神社

・五所神社

一七協研修旅行会

渉外部 部長 坂路禎己

令和六年三月二十一・二十二日、神
青協一都七県協議会の研修旅行会に志
村会長以下三名で参加致しました。

当日は東京駅をバスで出発し、長野
県千曲市に鎮座する武水別神社を参拝



し、神社の由緒などのご説明をいた
きました。その後、県の指定文化財で
ある「神主館松田邸」を見学し、さら
に長野市内に移動して懇親会を行いま
した。一都七県の同志とご当地県の長
野県神道青年会の方々と一緒に杯を酌
み交わしながら親睦を深め、有意義な
時間を過ごす事が出来ました。

二日目は長野市にある善光寺に参拝
し、現地ガイドの方からの説明を受け
ながら拝観致しました。建立されてか
ら千四百年という歴史があり、長野県
民のシンボリックな存在である事を改め
て実感致しました。

その後、戸隠神社へと移動し、中社

にて正式参拝を致しました。戸隠神社
は三月の下旬にも関わらず積雪が一
メートル以上あり、気温も氷点下四度
と極寒の中での参拝となりました。

この研修旅行会は、例年ですと中央
研修会開催地周辺にて開催されてお
りましたが、今回は日程の関係で別日開
催となりました。それにも関わらず、
多くの参加者が集まり、一都七県同志
との繋がりをより密で強固なものに
きた大変意義深い研修となりました。

顧問会・慰労送別会

渉外部 副部長 宮本公太郎

令和六年三月二十六日、ホテルザ
ノットヨコハマにて、顧問会並びに慰
労送別会を開催致しました。

顧問会では各部署長より事業報告を
行い、当会における今後の課題や活動



について顧問の皆様から貴重なご意見
をいただきました。

その後、退会される先輩方の送別、
また令和五年度の青年会活動の労いを
兼ねて慰労送別会を行い、退会会員と
なる水谷祐也先輩、國生隆也先輩、菊
池真先輩、鈴木裕子先輩、草山和泉先
輩を送り出しました。ご臨席の叶わな
かった先輩もおられますが、ご出席い
ただいた先輩方のこれからのことや、
過去の青年会活動についてなど貴重な
お話を聞くことができ、賑やかで笑
いの絶えない時間となりました。

また、会員数の減少傾向を理由にす
るのではなく、正副会長をはじめとした
青年会全体で団結してできることを
積み重ねていき、より素晴らしい組織
にしていく責務が会員一人一人にある
と改めて実感致しました。

結びに、今年度をもまして退会さ
れます諸先輩方の今後益々のご活躍と
ご多幸を心よりご祈念申し上げます。

【当日出席された退会会員様より】

水谷祐也先輩



「長い間、皆
様にはお世話に
なりました。出
向役員として出

席していた四年間はもちろん、野球大
会やゴルフ大会など、皆様との親睦を



令和六年四月四日、千葉県印西市にあるアコーディア・ゴルフ習志野カントリークラブにて、神青協一都七県協議会の第十五回懇

神青協一都七県協議会 懇親ゴルフ大会

総務局局長兼監事

山本喜道

四月

ですが、今後もお付き合いいただけると幸いに思います。これから青年会で経験した事を活かし、社務に励みますのでよろしくお願い致します。



國生隆也先輩

「皆様、長い間ありがとうございました。青年会は退会しま

深められるところで横の繋がりが出来た事が大変嬉しく思います。神奈川県には同期も多くおられますので、十八年間ここまで頑張ってきたのだと思います。」

神道青年全国協議会 創立七十五周年記念大会

副会長 土屋慶之

令和六年四月二十三日、明治記念館にて「神道青年全国協議会創立七十五周年記念大会」が全国から三百名を超える来賓・会員の皆様をお迎えし盛大裡に開催され、当会から志村会長以下八名が参加致しました。

本記念大会は神道青年全国協議会主催のもと、東京都神道青年会主管・神青協一都七県協議会協力で運営されましたので、当会からの参加者も受付や案内誘導等の係に従事しました。

午後一時より物故者慰霊祭が斎行され、午後二時からは株式会社土屋代表取締役会長黒川光博先生を講師にお招きし、記念講演が行われました。演題の「おいしい和菓子喜んで召し上

親ゴルフ大会がコロナ禍を経て六年ぶりに開催されました。
神奈川県から志村会長をはじめ五名が参加をし、一都七県より総勢二十四名の参加と多くの参加者が集まり、ゴルフを通じて懇親を深めました。
ゴルフ後の表彰式では茨城県の篠田さんが素晴らしいスコアで優勝をされ、神青協一都七県協議会の結束を益々固めることが出来ました。



誠実奉仕、信用第一

本社 本庁 御用達
國學院大學 推薦店
明治神宮 指定店

瀬戸装束店

〔営業品目〕

●神職御装束 ●神楽装束 ●神社調度
●祭器具のすべて ●神前結婚式場神殿設備

〒164-0001 東京都中野区中野3丁目10番5号

電話 03-3381-4927 FAX 03-3381-4927



KOWA
KOWA DISPLAY CO., INC.

大切なイメージをカタチにします。
オリジナル授与品・記念品

株式会社 晃和ディスプレイ

東京都目黒区目黒本町3-13-10 〒152-0002
TEL: 03-3792-0211 FAX: 03-3792-0925
ホームページ <http://www.kowa-dsp.co.jp/>

がつて頂く」は黒川先生の経営理念で、そのご説明に加えて、黒川先生が日頃より社員にされている具体的な内容をお話し頂き、多くの点で我々神職にも通じる大変貴重な講演を拝聴しました。

続く記念式典では、創立七十五周年記念事業の主題「起点〜本質を継ぐ〜」に沿って進められている各種事業の経過報告がされた後、記念表彰が行われました。当会より佐野巖顧問（第一号表彰）、守屋隆広相談役兼監事（第四号表彰）のお二方が表彰の栄に浴され、これまでの功績が讃えられました。

午後五時三十分より行われた記念祝賀会では、三笠宮彬子女王殿下の御台臨を仰ぎ、畏くも御言葉を頂きました。その後の歓談では、全国から集まった仲間や先輩の皆様方と交流を深め、賑々しく和やかな雰囲気の中記念大会は幕を閉じました。

神道青年全国協議会 第七十五回定例総会

会 長 志村幸弥

令和六年四月二十四日、神道青年全国協議会第七十五回定例総会が神社本庁大講堂にて開催されました。

定例表彰においては、最優秀事業賞に三重県神道青年会「オリジナル神棚

配布事業」、最優秀広報賞に東京都神道青年会「やくわえ 災害特集号」がそれぞれ受賞されました。また、東京都神道青年会「都内戦災震災殉難者慰霊祭並びに靖国神社参拝」、北海道神道青年協議会「北海道胆振東部地震発災五年慰霊祭並びに講演会」の事業が特別賞として受賞され、周年事業賞を兵庫県神道青年会「絵本『人生儀礼の物語』おなかの中の赤ちゃん』」が、教化事業賞を大分県神道青年会「臼杵護国神社 池内堆積土清掃奉仕活動」が受賞されました。受賞の栄に浴した事業を始め、エントリーされた事業はそれぞれに独創的かつ時代に即した内容であると感じられ、当会としてもこれらの事業を参考にしつつ、今後の活動の一助にして参ります。

その後の議事は滞りなく執り行われ、令和五年度の活動・決算報告、令和六年度の活動方針・予算案等、原案通り承認されました。

また次期神宮式年遷宮の御聴許を拝し、いよいよ第六十三回神宮式年遷宮の準備が始まることを受け、本年度より特別委員会として「神宮式年遷宮の“こころ”を守り伝える委員会」が設置され、国民総奉賛での御斎行のため、本格的な啓発活動を展開する旨が説明され、特別予算規定と併せて承認されました。



神祭具 授与品 記念品 奉製

株式会社 神路社

本社
〒516-8611 三重県 伊勢市 岩淵2丁目5番29号(私書箱第26号)
電話番号 0596-24-5858 / FAX 0596-24-5110
E-mail info@kamijisya.co.jp

神 苑(東日本営業所)
〒150-0013 東京都 渋谷区 恵比寿1丁目26番14号 ACTビル4階
電話番号 03-3280-6720 / FAX 03-3280-6721
E-mail info-tokyo@kamijisya.co.jp
<http://www.kamijisya.co.jp>

誠実と真心で奉仕する

御守・授与品・参拝記念品奉製

天然石厄除開運腕輪守・天然石みくじ

御一報次第カタログ御送り致します。

グリーン産商株式会社

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号
TEL (06) 6702-6009 (代表) FAX 0120-34-2996



令和六年四月二十六日、伊勢山皇大神宮に於きまして令和六年度神奈川県神道青年会定例総会が開催されました。例年より一ヶ月早くの開催でした。

定例総会・懇親会

事務局 局員 片岡昂也

決議では、前日に行われた創立七十五周年記念大会の祝賀会に御台臨あそばされた彬子女王殿下より賜った「思ひを新たに神道の伝統と歴史を紡ぎ続けてくださいますことを祈ります」との言葉を受け、伝統と歴史を正しく継ぎ、第六十三回神宮式年遷宮に備えての啓発活動を積極的に展開する旨が盛り込まれ、満場一致で承認されました。



が、会員三十一名が出席し、無事に執り行われました。
冒頭、志村会長より能登半島の一日も早い復旧が成されることを祈念申し上げました。また、当会会員数が減少傾向の中、一人一人が当会の一員としての自覚を持って記念事業、各事業、復興支援を成し遂げていこうと決意の現れた挨拶が行われました。議事へと進み、議長は新井総務局員が選任され、令和五年度の活動及び決算報告と令和六年度の活動方針、活動計画や予算案が慎重審議を経て承認されました。
また、本年創立七十五周年記念事業

【薬剤効果】・防火難燃性能・防腐効果・防蟻効果

エアー鉋 無公害性防火難燃剤
ファイヤニレターデント防燃水

木材の大敵、
「水じみ」
「木材腐朽菌」除去!

- 多くの神社仏閣・公共施設に採用!
- 1,300℃でも引火しない!
- 無色透明人体・建物に無害!

移転しました
コクド環境株式会社 草加事務所
〒340-0015
埼玉県草加市高砂2-11-9 ヲンパベル草加603号
TEL:048-918-2057/FAX:048-945-5902

宮内庁 神社本庁・神奈川県神社庁・各県神社庁
全国神社・小笠原流弓馬術礼法教場

御用達

株式会社 大槻装束店
代表取締役 大槻 奈津子

〒113-0034 東京都文京区湯島3-13-2
http://www.ootsuki-shozokuten.com
E-mail: info@ootsuki-shozokuten.com

千代田線・湯島駅徒歩4分/銀座線・末広町駅徒歩6分
電話：03-3835-3201 FAX：03-3835-0617

創業百有余年
— 伝統の技術を活かした授与品作り —
神奈川県神社庁をはじめ
全国各神社でご利用頂いております。

神符・守札・木札・金欄御守・御朱印帳
交通安全守・彫り木守・守護矢・ステッカー
シール型守・縁起物・その他各種授与品

株式会社 丸井紙店

TEL 055-272-0136 FAX 055-272-3966

〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門763 <https://juyohin.co.jp/>

御装束・御簾・神輿
神祭具調度

宮内庁御用達・京都百年老舗

竹重 株式会社

〒600-8324 京都市下京区西洞院花屋町上る東側町510
☎075-371-0394 FAX075-341-6966
フリーダイヤル 0120-37-0394



実行委員会発足に伴い、志村会長より小峰副会長を実行委員長とする旨、報告がありました。小峰実行委員長より、前回の七十周年記念事業はコロナ禍により断念した事業もあったので、こうした企画を踏襲、拡充して行えるよう皆様のお力添えを戴きたいと挨拶が行われました。

総会後は伊勢山ヒルズにて賛助会員・顧問の先輩方のご出席を賜り懇親会を開催いたしました。終始笑顔とお酒の絶えない時間となり、あつという間の親睦の時間となりました。



来福 お守り
水引プレスレット

ご社名入り承ります。

全10色

1体 583円(税込)

株式会社 民俗工芸

〒857-1162 長崎県佐世保市卸本町18-1
TEL0956-34-5500 FAX0956-34-5511

内宮に一番近い宿
早朝参拝のご案内をしております

ゆとりとやすらぎの宿

神宮会館
伊勢神宮崇敬会

ーご宿泊に関するお問い合わせー

〒516-0025 伊勢市宇治中之切町152
TEL0596-22-0001/FAX0596-22-1517

インスタグラム好評配信中!

祈りのかたちに
京の伝統と真心を込めて

御社やならではの御守をオーダーメイドで奉製いたします
色・柄・形などお気軽に御相談ください

環境にやさしい脱石油づくりをすすめています

京都奉製株式会社

京都本社 東京営業所 仙台営業所 福岡営業所
☎ 0120-164124 (イロヨイニシキ)
ホームページ http://www.gmami.co.jp

この国の佳き伝統とともに

株式会社 宮本卯之助商店

創業文久元年 太鼓・神輿・祭礼具 製造販売

〒111-0035 東京都台東区西浅草2-1-1
tel. 03-3844-2141 fax. 03-3842-6730

www.miyamoto-unosuke.co.jp

令和5年度後期活動報告

10月

- 3 神奈川県宗教連盟第七十九回宗教文化講座助勢（川崎大師・平間寺）
- 4 一都七県神職野球大会（大井ふ頭中央海浜公園）
- 7 青少年育成事業「稲作体験」稲刈り（神奈川県神道青年会御神田）
- 20 会報「神奈川」第76号発行
- 20 第六回拡大役員会（伊勢原大神宮）
- 24 会計局会（伊勢原市大山・目黒旅館）
- 25 神青協一都七県協議会第三回定例会議（神社本庁）
- 25 神青協事業委員会（Zoom）

11月

- 5 献米発送（箱根・駒形神社休憩所）
- 8 小筆講座（神奈川県神社庁）
- 13 北方領土返還要求運動神奈川県民会議第37回北方領土返還要求運動神奈川県民大会（横浜情報文化センター）
- 13 神青協事業委員会（Zoom）
- 15 会計局会（伊勢原市大山・目黒旅館）
- 21 一七協懇親フットサル大会（国立代々木競技場フットサルコート）
- 27 神青協「現代社会における神社の役割」を学ぶウェブ研修会（Zoom）
- 27 第7回拡大役員会（伊勢山皇大神宮）

12月

- 4 神政連かながわ元気フォーラム2023助勢（ローズホテル横浜）
- 7 第4回定例会議、研修会、忘年会（靖國神社他）
- 11 忘年会、賛助会員交歓会（横浜桜木町ワシントンホテルベイサイド）
- 14 神政連憲法研修会助勢動員（伊勢山皇大神宮）
- 15 会計局会（伊勢原市大山・目黒旅館）

1月

- 11～12 能登半島地震物資支援
- 23 新年会（横浜・イタリアンダイニングサウス）

2月

- 1 外貨収集事業開始（令和6年3月20日迄）
- 5 神青協一都七県協議会事務局会（Zoom）
- 7 令和6年北方領土返還要求全国大会（国立オリンピック記念青少年総合センター）
- 8 一七協第5回定例会議・顧問会・新年会（東京都神社庁）
- 12 総務局会（横浜）
- 12 神奈川縣神輿保存会新年会（横浜ロイヤルパークホテル）
- 13 神道政治連盟時局対策連絡会議（衆議院第二議員会館）
- 13 広島県青年神職会創立70周年記念大会（ホテルメルパルク広島）
- 13 会計局会（伊勢原市大山・目黒旅館）
- 14 創立75周年記念事業事前打ち合わせ会（Zoom）
- 19 事務局会（Zoom）
- 19 神奈川県神社庁防災備蓄倉庫在庫確認
- 20 第8回拡大役員会（伊勢山皇大神宮）
- 21 埼玉県神道青年会創立70周年記念大会（大宮ソニックシティ）

3月

- 7～8 神青協令和5年度中央研修会（札幌プリンスホテル）
- 10 教養部会（藤沢）
- 12 禊祓成研修会（鶴岡八幡宮）
- 14 会計局会（伊勢原市大山・目黒旅館）
- 21 一七協研修旅行会（戸隠神社・長野方面）
- 26 顧問会、慰労送別会（ホテルザノットヨコハマ）



授与品専門奉製所

常陸神宝(株)

〒310-0802 茨城県水戸市読書町835-1

☎ 029-227-0511

FAX 029-227-0512

繊細な技術と日本の伝統を今に継ぐ
授與品の奉製

古都 奈良の

株式会社 大和奉神堂

〒630-8434 奈良市山町782番地

TEL 0742-62-3235(代)

FAX 0742-62-3228

E-mail: hoshindo782@yahoo.co.jp

HomePage: <http://www.yamato-hoshindo.net/>

慶弔報告

◇弔事

高橋安彦氏

(相州春日神社宮司、青年会副会長・顧問等を歴任された高橋秀聡氏御尊父)ご逝去

◇誕生

神谷直樹

令和五年十二月二十四日

第一子 長男 颯佑そうすけ

入会・退会会員

◇入会

神鳥前川神社

権瀬宜

安達

都

◇退会

白山神社

権瀬宜

菊池

真

寒川神社

権瀬宜

水谷

祐也

寒川神社

権瀬宜

國生

隆也

御嶽神社

権瀬宜

草山

和泉

素鷲神社

権瀬宜

鈴木

裕子

本牧神社

権瀬宜

山本

智穂

退会顧問

杉山神社
平塚八幡宮宮司 寶積 章磨
宮司 宅野 順彦鶴岡八幡宮
鶴岡八幡宮
鶴岡八幡宮
鶴岡八幡宮権瀬宜 田上 敬之
権瀬宜 小澤 湧哉
権瀬宜 大戸 翔悟
権瀬宜 田中 啓瑛
金森 文孝

営 業 品 目

縁起物入みくじ・金属製守・木札守・紙札守
金欄錦守・各種熊手・守護矢・朱印帳

おもりの奉製

株式会社 阿部

〒323-1104 栃木県栃木市藤岡町藤岡5203-1

TEL (0282) 62-1010 (代表)

FAX (0282) 62-2061

編集後記

爽やかな風薫る五月、新緑が朝の陽ざしに映える美しい季節となりました。会報七十七号の発刊にあたり、社務ご多忙にも拘わりませずご協力賜りました石井宮司様をはじめ、寄稿者の皆様、協賛各社の皆様には、心より篤く御礼を申し上げます。

令和六年元日に発生した能登半島沖を震源とする大地震は、あろうことか年始の団欒を直撃し、非常に多くの方に深刻な被害をもたらしました。殊にお正月は、一年間で神社がもっとも賑わう重要な時期です。何ヶ月も前から準備に準備を重ね、氏子も職員も一丸となつて新年を恙無く迎え、その大切さ大変さが理解できる私達だからこそ、一月一日の地震発生は大きな衝撃であつたと思います。「そなえよつねに」を今一度肝に銘じつつ、被災地の一刻も早い復興が叶いますように、私達に今できる事は何かを考え、必要な支援を継続して参ります。今後とも皆様のご支援ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

広報部 副部長 吉本けいと

奉じる心を大切に 全国社寺 授与品 総合奉産 調度品

京都・吉祥院 東和奉産株式会社

代表取締役 松尾正貴

本社・工場 〒601-8348 京都市南区吉祥院観音堂町七



電話代表 (075) 691-3000
FAX (075) 691-3300
E-mail info@towahosan.jp

各種御守・授与品全般・デザイン制作承ります。

にしき 西紀 有限会社

TEL: 072-810-8133

FAX: 0120-71-8135

FAX 24 時間受付

〒576-0034 大阪府交野市天野が原町 4-1-7
メール: mytom@chive.ocn.ne.jp

ゴルフ同好会



ゴルフ同好会では不定期ですがゴルフコンペを企画し、開催しております。令和五年十月十一日には富士国際ゴルフ倶楽部で八名にてコンペを開催致しました。

また、令和六年四月四日には第十五回神奈川第一都七県協議会懇親ゴルフ大会がアコーディア・ゴルフ習志野カントリークラブにて開催され、本県から五名参加し、総勢二十四名の参加者で親睦を深めることが出来ました。参加者の多くはゴルフ初心者で、大会に初参加された方もおり、ゴルフを始めるいい機会になったようです。

尚、当会としては次回令和六年五月二十二日に富士国際ゴルフ倶楽部で開催予定です。

当会では、初心者の方にも楽しんでいただけるようゴルフ練習場での練習を企画し、会員同志の親睦を深める一

フットサル同好会



助となるよう活動して参ります。

【事務局】 日枝神社 山本喜道

〇四四―四二二―三二七―

当同好会は月に一、二回横浜市近辺の体育館・フットサル場を中心に活動しております。小泉匡史選手兼監督による本格的な戦術練習から未経験者に合わせた基礎練習、運動不足の方に合わせたフィットネス感覚のボールを使わないトレーニングを始め、お子様方も一緒に楽しめるバラエティ豊かなトレーニングメニューをご用意しておりますので、是非ご家族でのご参加もお待ちしております。

又、当会は毎年秋に開催される「一都七県親睦フットサル大会」優勝を目標に掲げて活動しております。フットサルを通じて神奈川県内だけでなく、

野球同好会



他県との交流も行っているので、運動を通して多くの仲間たちとの親睦を深める事が出来る環境となっております。お気軽にご参加ください。

【事務局】 八幡大神 小泉匡史

〇四四―五一二―六〇一―

野球同好会では年に一度開催される一都七県神職野球大会の優勝を目標に掲げ、月に二回練習を開催しております。二十、六十代の素人から経験者を含む男女の選手が集い、選手兼監督（八幡大神 小泉倫孝宮司 六十六歳）の掲げる「神奈川らしく、元気に楽しい野球を。」の言葉のもと、大きな声で笑い、叱咤激励し合い、体に鞭を打って練習に励んでおります。共に汗を流す時間は上下関係や職場の枠を超えた

仲間という意識をより一層強めてくれます。

野球というスポーツを通じて、運動不足の解消や、大声を出してのストレス発散、油の乗った大人の真剣さを観て楽しむ等、参加の理由は様々です。青年会の歴史が詰った本同好会は老若男女問わずより多くの仲間を募集しておりますので、少しでも興味がある方は近くの会員や事務局へご連絡いただき、奮ってご参加下さいますようお願い致します。

【事務局】 神明社 榎宜 石原誠人

（神道青年会顧問）

〇四五―三四一―六三六五

神奈川県神社庁御用達

株式会社 クレックス

代表取締役 近藤 榮人

〒194-0014 東京都町田市高ヶ坂六十八―一〇番地
電話 〇四二―七二八―八九四一代
FAX 〇四二―七二三―三五六三